

令和8年度 第1回倉敷市下水道事業審議会 議事概要

■ 日 時 令和8年8月19日(水) 13:30~15:30

■ 場 所 倉敷市防災危機管理センター1階リエゾン室(152会議室)

■ 出席者

【委員】(50音順)

小引委員、小山委員、天王寺谷委員、別所委員、正田委員、増子委員、向山委員、山路委員

【事務局】

環境局:小畑参与

下水道部:藤井参事、吉和副参事

下水経営計画課:津嘉山課長代理、藤原課長主幹、貝原主幹、犬養技師、片岡主事

浸水対策室:仲前室長

下水施設課:菊池課長

下水建設課:中村課長

■ 傍聴者 0人

■ 報道機関 0社

■ 次 第

1 委嘱辞令交付

2 開 会

3 環境局参与あいさつ

4 委員自己紹介

5 事務局職員紹介

6 会長・副会長選出

7 議 事

(1)倉敷市下水道事業審議会の概要

(2)倉敷市下水道事業経営戦略の概要

(3)倉敷市下水道事業の概要

(4)令和8年度下水道事業会計当初予算の概要

(5)下水道使用料について

8 閉 会

事務局 議事(1)「倉敷市下水道事業審議会の概要」について資料に基づき説明

会長 ありがとうございます。ただ今の説明について、何かご質問等はございますでしょうか。

＜委員からの意見・質問等なし＞

事務局 議事(2)「倉敷市下水道事業経営戦略の概要」について資料に基づき説明

会長 ご説明ありがとうございました。本計画は2026年度から2035年度の10年間の計画であり、今後はこの計画に基づいて、事業を推進していくとのことですが、皆様よろしいでしょうか。

＜委員からの意見・質問等なし＞

事務局 議事(3)「倉敷市下水道事業の概要」について資料に基づき説明

会長 ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明につきまして何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。特に初めて参加される委員の方など、分かりにくい点はございませんでしょうか。専門用語も多いですが、経営戦略の51ページ以降に用語集もありますので、そちらも併せてご確認ください。

＜委員からの意見・質問等なし＞

事務局 議事(4)「令和8年度下水道事業会計当初予算の概要」について資料に基づき説明

会長 ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明につきまして何かご質問等ございますでしょうか。

＜委員からの質問等なし＞

会長 説明の中に、「繰入金が多い」という点が、倉敷市下水道の特徴となっていると言及がありました。経営戦略13ページの図3の7をご覧いただくと、分かりやすいと思いますが、かなり繰入金に頼っていることが分かります。この点について、事務局から補足はありますか。

事務局

倉敷市は、全国に62ある『中核市』の中でも、一般会計からの「繰入金」の額が一番多い（令和5年度決算比較）状況にあります。人口規模や処理面積が異なるため金額のみでの単純比較はできませんが、繰入金の多さについては、繰り出し元である、市の財政担当部署などからも強く指摘を受けております。そのため、本経営戦略の策定にあたって「繰入金は計画的に削減すべき」という方針で議論を重ねてまいりました。

一方で、下水道は市民生活を支える不可欠なインフラであり、必要な整備や更新を止めるわけにはいきません。事業に必要な投資を継続しつつ、いかに経営バランスを確保して繰入金を減らしていくかが、本市の直面している課題です。

会長

ただ今のご説明にもありましたとおり、前期の審議会では繰入金のありかたについて議論を重ねた結果、大幅に減らす計画となっています。そのほかご質問等はございますでしょうか。

委員

未普及対策（事業）費は下水道がいまだ来ていない（整備されていない）ところに下水道を作るための予算で、それを前倒しで執行するという理解でよろしいでしょうか。これだけの予算を使って10年後には下水道の普及率が100%になるということでしょうか。

事務局

予算の前倒しについては、整備をより早期かつ効率的に進めるため、9年度分の事業を1年前倒しして8年度に実施するものです。10年間の総額としては計画の範囲内に収まります。

また、普及率につきましては、下水道単独で100%を目指すものではありません。汚水処理には「農業集落排水」や「合併処理浄化槽」も含まれます。これらをすべて合わせ、市全体の汚水を100%適正に処理することを目標としており、下水道のみで100%にするということではありません。

会長

他にご質問等はございますでしょうか。よろしければ次の議題に移ります。

事務局 議事(5)「下水道使用料について」資料に基づき説明

会長

ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明につきまして何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

委員

倉敷市のように、独立採算ができていないところが、全国でどれくらいありますか。倉敷市はそういう状況だけど、他の市や県はどうなっているのでしょうか。

うか。

事務局

繰入金に全く依存していないところはほぼ皆無と認識しています。下水道事業には汚水処理はもちろんですが、先ほども申し上げたとおり、雨水対策、いわゆる浸水対策も行っております。これにつきましては、下水道使用料で賄うべきものではないので、公金（一般会計繰入金）で賄っております。

委員

雨水対策にまで、下水道の使用料が使われているわけではないのですね。もし雨水対策に下水道使用料が使われているとなると、それは違うのではないかなと思うのですが、それはないということでしょうか。

事務局

浸水対策と汚水処理の経費は明確に区分し、浸水対策に係る経費は全額一般会計で負担してもらっています。

委員

昨今の各地の浸水被害を考えると、雨水対策は非常に重要だと感じています。千葉県の浸水被害の件がありましたので、雨水に関してはちょっと皆さんピリピリしているところがあるのかなと、私たちも明日は我が身じゃないのかなとは思いますが、そこはちょっと気になっています。

会長

ありがとうございました。雨水対策については、全額繰入金で賄われるという認識で間違いありませんか。

事務局

そのとおりです。

会長

経営戦略の47、48ページでお話いただけたと思うのですが、ポイントとしてはこの収益的支出の「うち基準外繰入金」というのは少ない方がいいが、一方で「基準内」といわれているものについては、今後も必ず繰入れてもらうという認識で大丈夫でしょうか。

事務局

その認識で問題ございません。

会長

その他にご質問、ご意見等ありますでしょうか。今の事務局のお話にも絡むのですが、令和8年度のこの計画書上の数値で、繰入金76億円のうち、雨水に係るものを含む、いわゆる基準内が約41億円。それに対して、基準外が約35億円となっていますが、基準外については、最終的には、計画上是10年後には約6億円になるという試算を行っています。それに対して、基準内についてはほぼ横ばいとなっております。

また、先ほど普及率についてご質問がありましたが、経営戦略の 37、38 ページに（普及率についての）目標値があります。その他にも、耐震化率などの目標値もありますので、こういった点もご確認いただければと思います。

他にご質問、ご意見等ありますでしょうか。ないようでしたら、最後に審議会の今後の日程等について事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 審議会の日程等について説明

令和 8 年 9 月 15 日

議事録署名委員

小山 祥子

議事録署名委員

小引 晶公

